

長崎縣地方の蚊について

長崎大学風土病研究所 衛生動物学研究室 (主任 大森南三郎教授)

大森南三郎・大島正治・別宮久夫・藤崎一克

On the mosquitoes found in Nagasaki Prefecture

By

N. Omori, M. Osima, H. Bekku, and K. Fujisaki

Department of Medical Zoology, Research Institute of Endemics,

Nagasaki University.

(Head : Prof. Dr. N. Omori)

緒 言

長崎縣地方の蚊族については、山田氏(1921, 1927, 1932)の報告がある。その中、*Hedes watasei*, *H. alboscuteellatus*, *H. nobukonis* は1916年に大村で又 *H. imprimens* は大村及び北海道で同氏が採集した稀有な種類である。その後石井氏(1940, 1948)、内田氏(1943)、一ノ瀬・片峰氏(1949)等によつて、夫々數種の普通種の存在が報告されている。山田學氏等(1943)は昭和17年の Dengue 熱流行時に長崎港内に碇泊していた南方から歸航した船内に *Hedes aegypti* の幼虫及び蛹を發見しているが成虫は採集していない。近年山口・La Casse 兩氏(1950)の廣汎な調査によつて従來の知見に *C. mimeticus*, *C.*

infantulus, *C. ryukyensis* 等の稀有な種類が追加され 1950年には當教室の大島によつて *Orthopodomyia anopheloides* が更らに追加されて 7屬33種 (*Hedes aegypti* を加へると 34種)、が報告されていた。吾々は 1951年春から秋にかけて主として諫早市で人家や畜舎の定期採集及び附近の發生地での幼虫の調査を行い、又その他縣内各所で調査をした結果更らに *Culex rubithracis* 1種を追加した。吾々が採集した蚊族の種類と成虫及び幼虫の多寡並びに従來報告されているもので吾々のまだ採集していないものを表に示すと第一表の通りである。

Table 1. Mosquitoes collected by the present writers in Nagasaki Prefecture during the year of 1951

No.	Species	Larvae	Adults
1	<i>Anopheles koreicus koreicus</i> Yamada et Watanabe, 1918	+	+
2	<i>Anopheles koreicus edwardsi</i> Yamada, 1925		+
3	<i>Anopheles hyrcanus sinensis</i> Wiedemann, 1826	+++	+++
4	<i>Anopheles sineroides</i> Yamada, 1925		+
5	<i>Anopheles lindesayi japonicus</i> Yamada, 1918	++	
6	<i>Culex pipiens</i> Linnaeus, 1758	+++	+++

7	<i>Culex quinquefasciatus</i> Say, 1823	+	+
8	<i>Culex tritaeniorhynchus</i> Giles, 1901	++	+++
9	<i>Culex vishnai</i> Theobald, 1901	+	+
10	<i>Culex whitmorei</i> (Giles), 1904		+
11	<i>Culex bitaeniorhynchus</i> Giles, 1901	+	+
12	<i>Culex sinensis</i> Theobald, 1903	+	+
13	<i>Culex orientalis</i> Edwards, 1921	+	+
14	<i>Culex mimeticus</i> Noe, 1899		+
15	<i>Culex pallidothorax</i> Theobald, 1905	++	+
16	<i>Culex infantulus</i> Edwards, 1922	++	
17	<i>Culex rubithoracis</i> Leicester, 1908		+
18	<i>Culex hayashii</i> Yamada, 1917	+	
19	<i>Culex vorax</i> Edwards, 1921	+++	+
20	<i>Aedes albopictus</i> (Skuse), 1895	+++	+++
21	<i>Aedes flavopictus</i> Yamada, 1921		+
22	<i>Aedes togoi</i> (Theobald), 1907	+	+
23	<i>Aedes japonicus</i> (Theobald), 1901	+++	+
24	<i>Aedes watasei</i> Yamada, 1921	+	+
25	<i>Aedes nipponicus</i> LaCasse et Yamaguti, 1948	+	+
26	<i>Aedes vexans nipponii</i> (Theobald), 1907		+
27	<i>Aedes imprimens</i> (Walker), 1861		++
28	<i>Armigeres subalbatus</i> (Coquillett), 1898	+++	+++
29	<i>Uranotaenia bimaculata</i> Leicester, 1909	++	
30	<i>Tripteroides bambusa</i> Yamada, 1917	++	+
31	<i>Orthopodomyia anopheloides nipponica</i> LaCasse et Yamaguti, 1948	+	
32	<i>Aedes nobukonis</i> Yamada, 1932		
33	<i>Aedes alboscuteellatus</i> (Theobald), 1905		
34	<i>Culex ryukyensis</i> Bohart, 1946		

Blank column means that by this time, larvae or adults are not collected by us.
+, ++, and +++ show the increasing numbers of mosquitoes collected.

採 集 成 績

Anopheles 属のものは5種を得た。その内 *hyrcanus sinensis* が分布も広く発生個体数も多いが諫早地方のものは殆ど凡て基本型である様に思はれる。*Indesayi* は散発的に広く分布しているが個体数は少ない。その他の種類は発生数が僅少である。

Culex 属は14種を得た。*pipiens* と *tritaeniorhynchus* は個体数が最も多く又極めて広く分布している。*quinquefasciatus* は *pipiens* と鑑別困難な個体もあつて、その分布及び発生地の調査は容易ではない。然し少なくとも諫早地方では非常に少ない様である。

vishnui, *whitmorei*, *bitaenlorhynchus*, *sine nsis*, *orientalis*, *mimeticus* 等は諫早附近では極めて少ない。*pallidothorax* の成虫は屋内や畜舎では採集出来ないが、幼虫の発見場所は相當に多い。所が五島では屋内及び山羊 trap 内で本種を大島は採集している。*infantulus* は屋内では全然採集出来ないが幼虫の採集は必ずしも困難ではない。*rubithoracis* は従来報告されていなかったもので、吾々が新たに追加したものであるが、これは夏、人家内で雄只1個体を採集したにすぎない。*hayashii* は幼虫のみを採集出来たがあまり多くはない。然し最近の調査で冬季防空壕内で多数潜伏している所を発見した。*vorax* は溝や各種の水桶や容器の中に発生しており分布も廣く発生個体数も多い。

Hedes 属は8種を得た。*albopictus* が最も多く、*flavopictus* は小濱の温泉地帯の裏山の潤葉樹林内で *albopictus* と略半々に成虫を得たがその他の所では殆んど採集出来ない。*togoi* は海岸地帯の調査を廣くは行っていないが内陸ではあまり多くはない。*japonicus* は墓場、神社その他竹藪等で幼虫は極めて多発しているが成虫の吸血に来るものは比較的少ない。*watasei* は山田氏が1916年に大村で採集して以来取れなかつたものであるが、大森が1951年夏平戸で成虫及び幼虫を得、幼虫からは蛹及び成虫を得た。*nipponicus* (Syn. *niveus*) は當地方の潤葉樹林内で多発している所があるが一般には少ない。

摘

1. 吾々は1951年春から秋にかけて長崎県下各地特に諫早市附近での蚊族の調査を行い7属31種の蚊を採集した。

2. *Anopheles* 属のものでは *hyrcanus sinensis* が最も多く、諫早附近のものは殆んど全部基本型の様に思はれる。

3. *Culex* 属のものでは *pipiens* と *tritaenlorhynchus* とが最も多く *quinquefasciatus* は少ない。その他の種類は何れも特に多く

vexans nipponii は當地方では稀有な種類に屬する。*imprimens* は山田氏(採集年不明)の採集以後取れなかつたものであるが鳥海氏は1648, 49, 50年に仙台近郊で、和久氏(1951)も同地方の山林笹藪等で採集したと報告している。吾々は大村の竹林内で雌成虫を相當數得たが雄を採集することは出来なかつた。附近の竹の切株等から採集した幼虫から本種の成虫を得ることが出来ず発生場所はまだ分らない。

次に、*Armigeres subalbatus* は分布も廣く発生個体数も多い。*Uranotaenia bimaculata*, *Tripteroides bambusa* は墓場や竹林で多発しており、前者は相當に多い。*Orthopodomyia anopheloides* はアカダナや樹穴等で採集出来るが當地方では稀有な種類に屬する。

最後の3種類の蚊族は吾々が未だ採集していないものであるが、その内 *Hedes nobukonis* は1916年に山田氏が大村で採集して以後採集されないものであり、*Hedes alboscuteellatus* は山田氏が1916年大村で採集しその後和久氏(1951)は *A. imprimens* と共に仙台で採集している。又、*Culex ryukyensis* は山口・La Casse 兩氏(1950)により本縣では始めて採集されたものである。

附記 昭和17年南泰より歸航した御用船上で *Hedes aegypti* の幼虫と蛹が、山田・伊熊・大島(1943)によつて採集されているがその後長崎縣からは採集されたと云ふ報告はない。

要

はない。*pallidothorax* は當地方には比較的廣く分布しているが、その吸血性については調査をしてみる必要がある。

infantulus は成虫が吸血に来襲せず幼虫の発生地は目立たない所にあるので従来殆んど注意されなかつたが、幼虫の採集は必ずしも困難ではない。*rubithoracis* は只雄1個体ではあるが1951年夏、人家内で採集して本縣産のものに新たに追加したものである。

4. *Hedes* 属のものは長崎縣下では興味のある種類が多いが、特に山田氏が1916年採集して以來取れなかつた *watasei* は大森が平戸で又 *imprimens* は吾々が大村で採集す

ることが出來た。然し *nobukonis* と *albocuteliatus* は未だ採集出來ない。*Hedes* 属のその他の種類については調査が充分には行われていない。今後の調査に俟たねばならない。

この調査研究の一部は、昭和26年度文部省科学試験研究費補助金に依つた。ここに記して謝意を表する。

文 献

- 1) 青木 義勇：風土病誌 (3), 臨床と研究. 24 (7) : 288-289, 1947.
- 2) 石井信太郎：伝染病媒体としての蚊. 1948.
- 3) 一ノ瀬健吾・片峰大助：長崎県島原半島住民における糸状虫感染状況について. 風土病研究 : 74-75, 1949.
- 4) 宮崎 一郎：いわゆるシナハマダラカの3型について. 1. 卵による区別. 医学と生物学. 16 (6) : 223-325, 1950.
- 5) 宮崎 一郎：いわゆるシナハマダラカの3型について. 2. 成虫で区別する方法. 医学と生物学. 17(1) : 34-37, 1950.
- 6) 日本昆虫圖鑑 : 1932.
- 7) 大島 正治：長崎県地方の蚊について. 医学と生物学. 19 (3) : 159-162, 1951.
- 8) 大鶴正滿、三宅三徳、甲斐田哲二：日本産シナハマダラカの race について. 日新医学. 38 (3) : 159-164. 38 (4) : 228-233, 1951.
- 9) 佐々學・淺沼靖：蚊を調べる人のために.
- 10) Sasa, M. : Redescription of *Hedes nobukonis* Yamada, 1932, with designation of its subgenus. Jap. J. Exp. Med. 20 : 409-411, 1949.
- 11) 内田 信久：長崎市々 Dengue 熱流行地点の蚊について. 日医健保 : 3306 : 2299-2300, 1943
- 12) 和久 義夫：日本産ヤブカ属の1種 *Hedes (Banksinella) imprimens* (Walker) について. 第 I 報 成虫及び蛹. 衛生動物. 1 (3) : 69-73, 1950.
- 13) Yamada, S. : Description of ten new species of *Aedes* found in Japan, with notes on the relation between some of those mosquitoes and the larva of *Filaria bancrofti* Cobbold. Ann. Zool. Jap., 10 : 45-81, 1921.
- 14) Yamada, S. : An experimental study on twenty-four species of Japanese mosquitoes regarding their suitability as intermediate hosts for *Filaria bancrofti* Cobbold. Sci. Rep. Gov. Inst. Infect. Dis., 6 : 559-622, 1927.
- 15) 山田學・伊熊健治・大島正滿：本邦内地に於ける熱帯編蚊の発見. 軍医団雑誌. 359 : 397-398, 1943.
- 16) Yamaguti, S. and La Casse, W. J. : Mosquito Fauna of Japan and Korea. 1950.

(昭 27. 3. 15 受付)